

2-4 えどがわエコセンター

えどがわエコセンターは一人ひとりが環境について学び、行動するために平成 16 年に設立された NPO 法人です。区民・事業者・行政や教育機関などが連携・協働して地球温暖化防止活動から資源循環型社会づくり、自然環境保全等あらゆる環境課題に取り組んでいます。

今日の環境問題の多くは、私たち自身のライフスタイルの見直し抜きには解決しません。そこでえどがわエコセンターでは、「日本一のエコタウン」の実現を目指し「もったいない運動えどがわ」を推進しています。その他、みどりのカーテンの普及や各種講習会・講座の開催など、年間を通じて多くの事業を展開し、気軽に誰もが環境活動に参加できるよう呼びかけています。

一方、世界に目を向けると、2015 年には国連で「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。これは、地球の環境を守りながら、世界のすべての人々が平和で豊かに暮らすことを目指すための目標です。えどがわエコセンターもグローバルな視点を持って環境活動を進めていくため、SDGs を視野に入れた事業の実施を推進しています。

さらに、ラムサール条約に登録された葛西臨海地域の賢明な利用に向けた取り組みも進めています。

また、平成 31 年 3 月、えどがわエコセンターはより信頼性・透明性の高い「認定 NPO 法人」として登録されました。

これからも持続可能な地域社会を目指し、次世代に引き継ぐことのできる環境づくりに向け取り組みを拡げていきます。



えどがわエコセンターロゴマーク

環境教育・環境学習の推進

(1) グリーンプラン推進校

えどがわエコセンターと幼稚園・小中学校が協働し、環境学習を推進するモデル校です。

平成 17 年度より、スタートし毎年 10 校（園）以上の参加があります。資材などの経費や各種情報の提供などの支援をしています。



(2) すくすくスクール放課後環境教育

「21 世紀子ども放課後環境教育プログラム」などを活用し、すくすくスクールの子どもたちを対象に、ゲームをしながら環境について学んでもらいます。



(3) 小中学校出前授業（総合学習）

グリーンプラン推進校を中心に、「出前授業」として環境学習プログラムを提供しています。



(4) 人材育成「エコアクション講座」

平成 16 年度にスタートした「環境学習リーダー養成講座」は、平成 20 年度から「おきがる環境講座」、令和 2 年度からは「エコアクション講座」に名称を変え、地域やエコセンターで活動するための知識やノウハウを基礎から段階的に学べる講座を実施しています。受講生は 4,600 人を超えました。



もったいない運動えどがわの推進

(1) 省エネの推進

昨今の記録的な猛暑により、夏季の電力不足が懸念され、節電意識が高まっているなか、区民に省エネ・節電に取り組んでもらうため、「省エネのコツ！講座」を実施しています。また、各家庭での消費エネルギーを分析する家庭の省エネに関するサービス等を紹介しています。

(2) 「みどりのカーテン」の普及

「みどりのカーテン」は、ゴーヤなどのツル性植物で作る自然のカーテンのことです。窓の外に作ることで直射日光を遮り、室温を下げ、エアコンの使用を抑えることができます。

「みどりのカーテン」普及のため、えどがわエコセンターが中心となり「みどりのカーテンモニター」事業を実施しています。



(3) フードドライブ

フードドライブとは家庭で余っている未利用食品を持ち寄り、フードバンクへ提供する活動です。集まった食品はフードバンクを通じて福祉団体や施設、食料支援を必要としている方々に提供されます。

エコセンターでは区と連携し、各地域まわりで回収を行ってきました。令和2年度からはエコセンター事務局での常設回収も開始しています。



3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

（１） 古布、余り布の活用



古布や布団を作る時に出る余り布を使って、箸袋や布ぞうり、座布団作り等の教室を開いています。捨てられてしまいがちなものに手を加え、新しいものによみがえらせることで、「もったいない」の心を伝えています。

（２） おもちゃの修理

幼いころから物を大切にする心を大切にしてほしいとの願いで、おもちゃの修理を行う「おもちゃの病院」を毎月第二土曜日に多目的ルームで実施しています。



（３） 生ごみ等の活用

家庭から出る生ごみを減らすための具体的な方法を教える講習会等を開催しています。

また、生ごみ堆肥づくりやできた堆肥を使った野菜づくりの楽しみも伝えています。



豊かな水と緑の保全と活用

(1) ラムサール条約に関する取組み

ラムサール条約登録湿地である葛西海浜公園三枚洲の観察会を行い、葛西沖の自然について啓発しています。屋形船を使った船上観察会では葛西沖の歴史を学び、船のデッキから野鳥を観察します。観察会終了後には船内で江戸前料理を堪能します。



(2) 自然復元・再生事業

本区は河口に位置するため、大量のごみが河川敷や海岸に漂着します。

そこで、えどがわエコセンターでは、東なぎさクリーン作戦の実施や自然環境団体が行う河川や海岸の清掃活動を支援しています。

また、本区が発見の地である貴重種「ムジナモ」の育成・普及の活動なども行っています。



(3) 自然体験・自然観察会

親水公園や河川敷、葛西臨海公園など区内の自然を活用した自然観察会や自然体験を実施しています。えどがわエコセンターが行う自然環境学習は、参加者自身の体験を通じて環境意識を高めることをねらいとしています。

